

静岡県観光情報アプリ
開発業務委託調達仕様書

令和2年6月

静岡県

1 業務の目的

個人旅行化の進展や、旅行情報収集源の主流がデジタルに移行するなど、旅行形態が変化するなか、国内外からの観光客に対して、観光デジタル情報プラットフォーム（以下「プラットフォーム」という。）に搭載した県内の施設や旅行者データ等と連携して、静岡県の観光名所をはじめ、食や文化といった魅力をPRし、県内の広域周遊や滞在時間の長時間化を促進することを目的として、静岡県を初めて訪れる方でも効率よく目的地まで到達でき、静岡ならではの情報収集ができる観光情報アプリケーション（以下「アプリ」という。）を開発する。

2 業務の概要

本業務で構築するアプリは、別途構築するプラットフォームとデータ連携し、旅行者の属性情報や位置情報等に応じた観光・体験情報を、旅行者に対して有益な情報をリアルタイムで配信することにより、周遊滞在を促進し、静岡県内での旅行消費額の増加を図る。

本業務は、別途構築するプラットフォームとの連携を前提としたアプリの構築に係る業務を行うものであり、提案競技実施要項に基づき事業者を選考する。

(1) 業務概要

- ・ アプリ開発
- ・ アプリ運用・保守

(2) 業務期間

契約締結の日から令和3年3月31日まで

(3) スケジュール

令和2年7月下旬	契約（予定）
契約日～令和2年9月30日	アプリ開発
運用開始日～令和3年31日	運用・保守

令和2年9月30日までに、アプリのプロトタイプを構築し、速やかに運用開始すること。構築に当たっては、別途構築するプラットフォームに蓄積されたデータと連携すること。

(4) 想定利用者

想定するアプリ利用者は以下の3つの利用シーンを想定する。

- ・ 本県の周遊観光を予定している旅行者（来訪前）
- ・ 旅先の周辺施設や体験プログラムなど追加的な提案を希望している旅行者（来訪中）
- ・ 本県の様々な観光地を周遊観光している旅行者（来訪中～来訪後）

(5) 対象言語

静岡県観光公式サイト「ハローナビしずおか」と一致すること

（英語・韓国語・中国語[簡体字・繁体字]）

<事業全体イメージ>



3 業務の内容

(1) 開発業務

ア アプリの開発

iPhone (iOS) 及び Android (Android OS) に対応したアプリを、(ア) ~ (エ) 及び別紙「基本性能」を参照の上、それぞれ開発すること。また、アプリ公開にあたって必要な動作検証を行い、その結果を県に報告すること。

(ア) 観光情報等 (静的データ) の充実

静岡県内の観光スポットやイベント情報、おすすめのモデルコースに加え、災害時における避難所情報等の情報が紹介できること。また、全国の情報に掲載している民間サイトでは埋没してしまうような、地元ライターの取材等によるニッチな観光・体験情報等の地域ならではの情報を提供すること。なお、これらの情報は受託者側において所有又は利用可能なものとし、オープンデータとしてプラットフォームに蓄積することを前提とするとともに、利用について施設管理者の承諾が必要であれば承諾を得ること。

(イ) 旅行者情報（動的データ）の充実

旅行者の属性情報（年齢、性別等）やGPS（全地球測位システム）等の位置情報、操作ログ・通信ログ、端末のセンサー機能を活用したデータ等を取り込むことにより、旅行者に応じた質の高い情報を提供すること。また、データ取得時には、利用についての同意を得る等必要な対応又は機能を有すること。

(ウ) データを活用したサービスの提供

静的・動的データを活用して、スマートフォンやタブレットを利用するアプリならでの、旅行者及び県内事業者にとって有益なサービスを提供すること。

(エ) 旅行後の評価

次の旅行者の誘客につなげるため、利用者が見やすく、評価しやすい機能（口コミやレビュー等）を搭載すること。

イ プラットフォームとの連携

アプリの開発にあたっては、別途構築するプラットフォームとAPI連携すること。オープンAPIはNGSI形式で連携を行うこと。

ウ 各種データの整理

アプリに搭載するデータについて整理し、一覧等で提示すること。なお、データの利用に際して、著作権等の使用許諾の必要がある場合は、所有者に対し許諾の手続きを適切に行うこと。また、利用するデータについてはプラットフォームに蓄積することを前提とすること。

エ 各種データの翻訳業務

ウ並びにアプリ内の表記について、2（5）対象言語で定めた言語に翻訳を行うこと。

オ 開発したアプリの配布

開発したアプリをiOSであればApp Store、Android OSであればAndroid Marketから入手可能とするために必要な手続きを行うこと。なお、本アプリは、無償にて入手可能となるよう、公開するものとする。

カ 留意事項

(ア) プラットフォームに蓄積するデータは、個人が特定できないよう加工した上で受け渡すこと。

(イ) 利用者の意見を踏まえ、本県と協議し、旅行者が使いやすいアプリとなるよう柔軟に対応すること。

(2) 運用・保守業務（構築後契約期間満了まで）

以下ア～キについて、作業を実施すること。また、令和3年度以降の運用・保守に係る費用とその内訳を示すこと。なお、令和3年度以降の運用・保守業務について、契約を保証するものではない。

ア 検証及び修正

iOS 及び Android OS のバージョンアップ等に伴う更新に合わせ、必要な動作検証を行い、適切な修正を行うこと。

イ 情報配信サーバの運用

本システムで使用するサーバ機器及びソフトウェアの保守・運用を行うこと。

ウ アプリで利用する各種データのメンテナンス

アプリで利用するデータは、最新のデータに更新し、2(5)対象言語で定めた言語に、必要に応じて翻訳を行うこと。

エ 開発したアプリのアプリマーケットでの継続した配信、管理

開発したアプリを iOS であれば App Store、Android OS であれば Android Market から入手可能とするため、継続した運用を行うこと。また必要に応じて、アプリマーケットでのレビューに返信を行うこと。

オ アプリ公開後の効果測定

開発段階に定めた目標値に係る実績を報告し、分析結果を報告すること。

カ アプリ公開後の不具合対応・問い合わせ対応

アプリ開発着手後から委託期間終了までの期間、システムの運用・保守を行い、必要な対応（iOS 及び Android OS のバージョンアップに伴う対応、システムの動作検証、不具合等の修正）を行うこと。

(ア) 計画的なメンテナンス等を除き、原則として 365 日、24 時間利用可能であること。保守作業の実施にあたり、業務の停止を伴う場合は、利用者に支障がないように、事前に本県と協議し、作業申請及び作業内容の通知を行って、本県の許可を得ること。また、完了後は報告書を提出すること。

(イ) 全ての利用者に対し、電話、メール等により 24 時間体制での問合せ対応を実施すること。障害発生時等においては、電話、メール等による問い合わせ、緊急度に応じたオンサイト対応や、不具合に係るシステム改修に対応すること。なお、保守受付窓口

を一本化し、障害発生時に速やかに連絡が取れ、復旧作業が開始できることを前提条件とすること。

キ 定例会の実施

利用状況、プラットフォームとの連携状況、課題、今後の展開予定などについての定例会を実施すること。

ク ダウンロード促進策

公開したアプリを国内外の観光客に周知し、ダウンロードが図られ、継続的な利用を促進するため周知すること。また、アプリの量的（ダウンロード数）及び質的（口コミ、レビュー等）な指標として、それぞれ目標を設定すること。

4 操作マニュアルの整備と研修

受託者は、本システムの運営に支障が無いよう、操作マニュアル等の作成及び公開前に県関係職員に対して操作説明会等の研修を行うこと。

5 提出書類等

受託者は、本事業完了後、履行期限内に知事が指示する日までに次の資料を提出すること。

- (1) 制作物（アプリの入ったCD等媒体、アプリ構成図、画面等の印刷物）
- (2) 操作マニュアル（日本語で作成し、紙媒体及び電子データの形態で記録媒体に格納して納品すること。）
- (3) アプリ運用保守計画書
- (4) アプリの周知に関する成果品
- (5) 本業務においてその他県より指示のあったもの

6 その他

- (1) 業務の一部を再委託及び再委託事業者から再々委託する場合は、受注者は事前に発注者と協議の上、承認を受けること。ただし、作業全部の再委託及び再委託事業者からの再々委託は禁止する。受注者は、機密保持、知的財産権等に関して、本仕様書が定める受注者の責務を再委託事業者及び再々委託事業者も負うよう、必要な措置を講じ、その内容を発注者に書面で提出して承認を得ること。
- (2) 業務の遂行に当たっては、委託者との協議・調整のうえ実施すること。

基本性能

項目	詳細
オペレーティングシステム (OS)	iPhone 端末 iOS 12.0 以降 Android 端末 Android 6.0 以降
対応デバイス	iOS iPhone Android Google Play ストアに対応している端末
解像度	本アプリのリソース画像は高解像度に対応した画像を使用する。 iOS 版は@3x に対応し、Android 版は xxhdpi 版に対応すること。
画面表示	縦画面での利用を想定する。 ※必要に応じて横画面での表示を行うこと。
アプリ種別	本アプリはネイティブアプリとする。 ※必要に応じて WebView を利用すること。
言語対応	デフォルトの言語設定は端末の言語設定を反映し、アプリ内の設定にて言語を切り替えられることとする。
サーバ通信	アプリとサーバ間の通信は全て SSL 通信を行う。
操作・通信ログ等の取得	サーバ通信時のログは個人情報の取扱いに十分配慮した上で、必要な操作・通信ログ等を記録する。
デザイン	事業の趣旨を理解した上で、旅行者の興味・関心を引くような操作性に優れたアプリのデザインを採用する。
セキュリティ対策	情報漏洩、不正侵入、不正改ざん等のセキュリティ対策を施すこと。 サービス提供のために個人情報や企業の営業情報を取り扱う必要がある場合は、十分なセキュリティ対策を行ったうえで情報の取り扱いについて必要な配慮を行うこと。